

室内給気部材 給気ユニット（角形・防音タイプ）〔壁取付専用〕 形 名 **AT-100QNK**  **メルコエアテック** 取付工事・取扱説明書

この給気ユニット（シャッター開口面積調節機能付）は、24時間換気方式の給気口として使用します。

- 取付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
■取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
 なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

! 指示に従い必ず行う

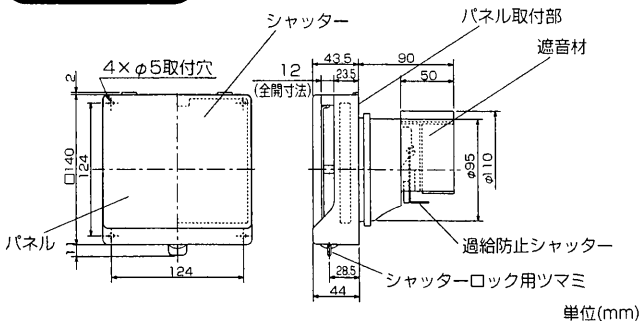
! **注意** 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 取付けは確実に（落下によりけがをすることがあります）
- 取付け時やお手入れの際は、**手袋を着用する**（着用しないときがをすることがあります）

取付け前のお願い

- この製品は排気による自然給気口として、住宅の居住室内の壁面に取付けます。それ以外の場所には取付けないでください。
- この製品は、フィルター付ですので、フィルターのメンテナンスの可能な場所に取付けてください。
- 下記環境下で使用しますとシャッター表面から結露水が滴下することがあります。
(室外温度が-5℃を下回り、かつ室内温度20℃・室内湿度50%以上)
- 寒冷地区(次世代省エネ基準のⅠ、Ⅱ地区)では使用しないでください。
- 高温(40℃以上)になる場所には取付けないでください。
- 火気に近い場所や油煙の多い場所には取付けないでください。
- 側面に通気開口部があるため、壁・天井に近い部分が汚れる場合があります。
- 外気の取り入れは燃焼ガスなどを吸い込まない位置を選んでください。
- フィルターが設置されていますが、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側の外灯などから離れた場所を選んで取付けてください。
- 上下を、まちがえないよう取付けてください。
- 屋外側には深形フードを使用してください。また、取付場所に合ったフードの選定をおすすめします。

外形寸法図



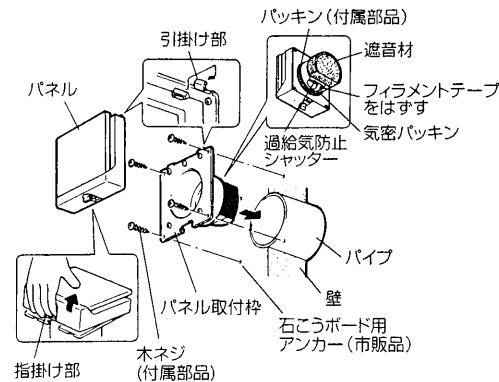
■付属部品

- パッキン（厚さ約5mm）……………1本
- 木ネジ……………4本

■適用パイプ

- 塩化ビニル管.....φ100 (4番管)
- 鋼板管.....φ100

取付方法



1. 壁厚に応じてパイプの長さを決める。
2. 壁穴にパイプを差し込み確実に固定する。
3. 過給気防止シャッターを止めているフィラメントテープをはずす。
4. パネルの下部の指掛け部に指を掛け、手前に引いてパネルをはずす。
5. 図のように、付属の木ネジ(4本)で壁に確実に固定する。

お願い

- 垂直な壁面に取付け、過給気防止シャッターが円滑に動く状態
で取付けてください。
- 施工パイプがVU管の場合、付属のパッキン(5mm)を気密パ
ッキンの上に巻き付けてください。
- 製品が水平ではない場合、取付ネジをゆるめて傾きを調整し
てください。
- 石こうボードに固定する場合、石こうボード用アンカー(市販品)
を使用して取付けてください。

6. パネルを、パネル取付枠上側の引掛け部に確実に引掛けて取付ける。
7. 屋外側にフードを取付ける。

お願い

- 雨水浸入防止のため深形フードをご使用ください。
- 風雨が強く下から吹き上げがある場合は耐外風高性能フードの選定をおすすめします。
- 外の騒音が大きい場所では防音フードの選定をおすすめします。

シャッターの開口寸法(面積)は、「全開・閉」以外に3段階の調節ができます。調節する際は、左表を参照してください。

お願い

- この給気ユニットは、通常「全開」状態で使用しますが、台風など外風の侵入がばげしいときはパネル下部のシャッターロック用ツマミを回転させ「閉」にします。
その後必ず「全開」状態にすることを忘れないでください。

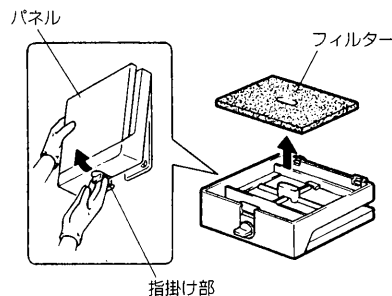
使用方法



ツマミ位置 (シャッター開閉状態)	使用状態
全開 ●	・ 通常使用するとき
↑ ● ● ●	・ 給気量が多くて寒いときなどに風量を少なくするとき
閉 ■	・ 台風などの外風の侵入が強いとき、または、冬場の給気による肌寒さを感じるとき

お手入れ

フィルターにほこりが付着しますと風量低下などの原因になりますので、約2か月に1回を目安に清掃してください。



お願い

- フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを入れ忘れると壁が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。
- お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンジャー等けんみ材入の洗剤（変質・変色する原因になります）

株式会社メルコエアテック